

潜在力をフル活用した生産強化

■夏秋トマト 高温対策を実証

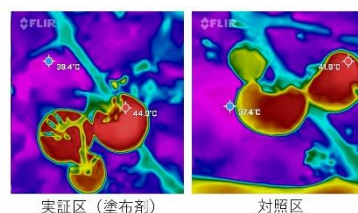
近年、夏期の高温が激しさを増し、夏秋トマトの栽培現場でも草勢の維持や果実の品質低下、作業者の身体的負担など、様々な影響が出ています。そこで、農業普及課では下呂市蔬菜出荷組合トマト部会と連携して、高温対策実証ほを設置し、効果の確認と生産者に向けた情報提供に取り組んでいます。

6月24日には、遮熱性のある塗布資材を天井ビニールに塗布する実証ほを、7月10日には、遮光資材をハウス内の通路部分にのみ展張する実証ほをそれぞれ作成しました。実証ほの設置に協力いただいた2名の生産者からは、「比較的手軽に取り組むことができ、ハウス内もかなり涼しく感じる。」というコメントがあり、効果を肌で実感されていました。

農業普及課では、現在、ハウス内の環境調査やトマトの生育調査を実施しています。また、今後は作業性や実証ほ設置にかかる経費など、実証の効果を総合的に検証し、今後の技術普及につなげていきます。



【塗布資材散布の様子】



【サーモカメラによる果温比較】